

－ 教 育 課 程 －

学 年	1	2	3
必 修 教 科			
国 語	140	140	105
社 会	105	105	140
数 学	140	105	140
理 科	105	140	140
音 楽	45	35	35
美 術	45	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
英 語	140	140	140
道 徳	35	35	35
特 別 活 動	35	35	35
総 合 的 な 学 習	50	70	70
総 授 業 時 数	1015	1015	1015

－ 職 員 状 況 －

番号	職 名	氏 名	教 科	担任学年	主 要 校 務
1	校 長	江藤 将	体		
2	教 頭	松葉 諸勝	社		分校運営
3	教 諭	小西 茂	国体英		教務・教科書
4	”	小倉 真治	理数音	3年主任	生徒指導・進路
5	”	菅本 一	数技国	2年主任	道徳・学習
6	”	寺内やよい	英数家	3年担任	保健・人権
7	助教諭	遠藤はるか	音英数	2年担任	特別支援
8	助教諭	仁田 誠二		分教室担任	

－ 日 課 表 －

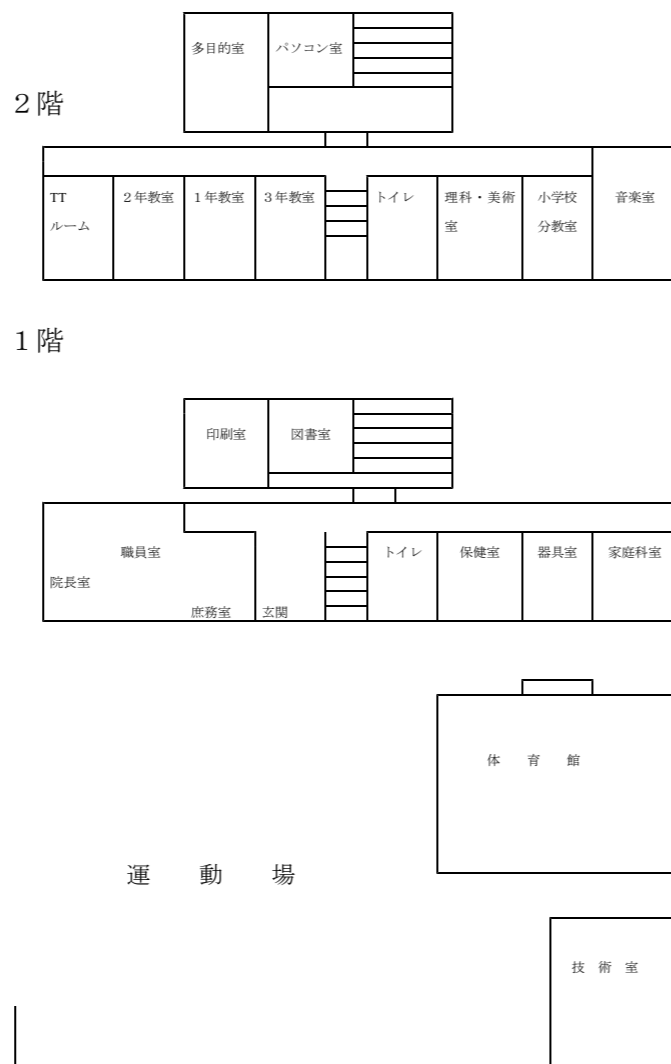
曜 日	月、火、木、金
分校職員朝会	8:30 ~ 8:40
児童朝会	9:00 ~ 9:10
朝の自習・合同職朝	9:10 ~ 9:20
1	9:20 ~ 10:00
2	10:10 ~ 10:50
3	11:00 ~ 11:40
4	11:50 ~ 12:30
昼食・休憩	12:30 ~ 13:30
清掃	12:30 ~ 13:40
5	13:40 ~ 14:20
6	14:30 ~ 15:10
トレーニング	15:20 ~ 16:00
部 活 動	16:00 ~ 17:00

水曜日は、授業は4時間目まで。
午後は寮で面接を実施。

※ 6月～7月下旬まで（四国大会まで）
15:30～部活動

※ 10月～12月上旬まで（四国大会まで）
15:30～駅伝

教室配置状況図



平成31年度 学 校 要 覧



鳴門市大麻中学校広塚分校

児童自立支援施設・徳島学院内学校

〒779-0230

徳島県鳴門市大麻町板東字広塚42

TEL (088) 689-1219

FAX (088) 689-1397

Eメール hirotsuka1@mh.pikara.ne.jp

本校の教育の特色

本校は、児童自立支援施設・徳島学院に入所している生徒たちに施設内で学校教育を行っている学校です。本校の教員と学院職員が協力して、生徒の自立支援を行っています。

授業は、一斉指導、習熟度別指導、個別指導、ドリル学習など個々の生徒の実態や学習内容に応じて常に工夫改善し、「分かる授業」の徹底を図っています。

総合的な学習の時間等は、心の教育を中心に据え、体験的な学習も取り入れて自尊感情の醸成を行っています。



楽しい授業風景

毎日の授業は、徳島学院の職員と密接な連携を図りながら実施しています。1つの授業に関わることができる指導者が多い利点を生かし、様々な学習方法を駆使して「分かる授業」を実践しています。

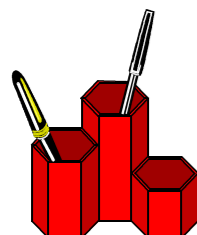
また、学習の定着状況を把握するとともに、教師自身が指導方法を反省し、今後の改善に役立てるために、確認テストも定期的に行っています。



－ 教育目標 －

生徒の実力に応じたきめ細かな教育によって、将来の社会的自立につながる「生きる力」と学力をつける。

- 1 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。
- 2 勤労の精神や規律正しい生活習慣を育てる。
- 3 人権を尊重する心や正義感を育てる。
- 4 基礎学力や粘り強く学習する態度を育てる。



－ 生徒目標 －

- 1 主体的に学習に励む。
- 2 規則やきまりを守り正義感のある行動をする。
- 3 主体的に勤労に励む。
- 4 礼儀正しく、あいさつができる。
- 5 相手を思いやり、助け合い、支え合う仲間をつくる。
- 6 自然を愛し、人間を愛する。



－ 生徒数 － (平成31年4月1日現在)

学年 性別	1年	2年	3年	合計
男子	0	1	2	3
女子	0	1	0	1
合計	0	2	2	4

－ 歴代校長 －

代	氏名	在職期間(年度)
初代	近藤 芳夫	平成14～17年
二代	島 喜良昭	平成18～19年
三代	中安 三郎	平成20～21年
四代	尾上 幹也	平成22～24年
五代	矢野 謙作	平成25～28年
六代	竜田 伸一	平成29～30年
七代	江藤 将	平成31～

－ 沿革 －

平成14年 4月 1日 鳴門市大麻中学校広塚分校として開校



朝の自習・読書活動

毎日朝の自習を行ない、基礎学力の向上を図っています。

また、読書活動にも熱心に取り組んでいて、図書室の他に、教室前の廊下にも新刊図書のコナーを置き、読書の時間にすぐ持っていけるようにしています。

トレーニング



トレーニング・部活

児童自立支援施設（徳島学院）の指導方針と本校も合わせて一緒に歩調で取り組んでいます。

それは、「with」の精神です。生徒たちと本校・施設職員が一緒になってトレーニング及び部活動に汗を流しています。



野球部



テニス部

